

第477回（3月定例）福崎町議会

福崎町長 橋 本 省 三

皆さんおはようございます。

第477回福崎町議会定例会を招集しましたところ全員のご出席を賜り誠にありがとうございます。

本年に入り厳しい寒さの日が続きました。北陸地方を中心に積雪の記録が各所で塗り替えられ、交通機関の乱れや家屋の被害も多数発生いたしました。2月の中旬に入りますとようやく寒さも和らぎ、日差しの中に暖かさを感じられるようになりました。庭の木々の芽もふくらみ、梅の花も咲き、春めいてまいりました。これからも三寒四温を繰り返す中で桜の季節を迎えるわけですが、体調管理には充分気をつけていただきたいと思います。

平成29年度は全国各地において非常に災害が多い年となりました。福崎町でも8月のゲリラ豪雨や9月の台風18号により、床下浸水、農林や土木の施設の被害が多く発生いたしました。私は安全安心のまちづくりを公約に各種の施策を講じていますが、その重要性を再認識した1年でもありました。

2月に成立した平成29年度の国の補正予算においては、防災・減災対策や総合的なT P P等関連施策に重点的な配分がありました。当町関係分では、防災・減災対策として町道大貫山田線の冠水対策に6,000万円、県事業では、砂防事業3か所を事業完了させるために9,000万円、ため池改修事業の推進に3,920万円、T P P等の関連施策として、ほ場整備事業の推進に2,400万円という多額の配当を受けることができました。昨年11月に地元選出の国会議員をはじめ国土交通省、農林水産省に対して要望を行い、町の現状を訴え、関係各省に知っていただいた結果だと喜んでいるところであります。これにより、自然災害によるリスク低減や農地の更なる利便性の向上及び競争力の強化が図られることを期待しております。

また、2月6日から7日にかけて国会議員、関係省庁に平成30年度、予算編成に係る要望を行いました。今後とも県と調整を図りながら国、補助事業の予算確保に努めてまいります。

さて、わが国を取り巻く社会や経済情勢に目を向けますと、「景気は緩やかに回復している」としてはありますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。依然として不透明な状況にあります。

一方、国内に目を向けますと、消費者物価は横ばいではありますが「個人消費・輸出」が持ち直しの動きをみせ、「設備投資・生産」は緩やかに増加、雇用情勢は着実に改善、景気は「緩やかに回復」しているようであります。

このような中、政府はデフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現するため、「経済財政運営と改革の基本方針 2017」、「まち・ひと・しごと創生基本方針 2017」及び「ニッポン一億総活躍プラン」等を着実に実行するとともに、人づくり革命と生産性革命を車の両輪として少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、12月に閣議決定を行いました「新しい経済パッケージ」を着実に実行するとしています。

国の平成30年度予算フレームでは、歳入面では、税収を59兆1千億円と見込み、一般会計予算総額では97兆7,128億円となり、プライマリーバランスは対前年度と比べ若干の改善となりますが、国と地方を合わせた30年度末の債務残高が、1,107兆円と見込まれ、依然として厳しい財政状況が続いています。

また、兵庫県では、行政改革の最終年度にあたり、行財政構造改革の総仕上げとして収支不足の解消を目指し、いわゆるプライマリーバランスの改善に取り組んでいます。新規事業では、県政150周年記念事業のソフト事業や「ひょうご地域創生交付金」が創設されました。

このような中、本町では国、県の施策の動向を注視しつつ、第5次総合計画の実現と福崎町総合戦略の取り組みを進めるとともに、行政改革の不断の取り組みと実行等により、人口減少・少子高齢社会であっても「**創意と工夫で輝く町**」を築いていくための予算編成を行いました。

一般会計の予算総額は90億1,400万円で、対前年度比3億1,400万円、率として、3.6%の増となりました。

特別会計の国民健康保険事業では、制度の改善と国民皆保険体制の安定化を図るため、兵庫県が財政運営の責任主体として事業運営に中心的な役割を担うという大きな制度改革が行われます。町においては、資格管理や保険給付、保険税の賦課・徴収、保健事業など、地域におけるきめ細やかな事業を引き続き行います。保険税の算定については、新制度に対応するよう資産割を廃止して3方式（所得割・均等割・平等割）へ移行するとともに、税負担の急激な増加を抑制するため基金等の活用により適正な税率設定を行います。

後期高齢者医療事業では、兵庫県後期高齢者医療広域連合において2年に一度の保険料改定が行われ、平成30年度・31年度の保険料が決定しました。高齢者にかかる医療保険制度については、段階的な見直しが実施されており、被保険者の負担にも大きく関わることから、正確な情報提供、わかりやすい広報に努めてまいります。

介護保険事業では、第7期事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度の3年間の介護保険料改定にあわせ、所得段階の基準所得金額の改正及び低所得者の介護保険料軽減強化を行います。また、地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みなど各種事業を推進します。利用者負担では、現役世代並みの所得のある方に対し、その見直しが行われます。

福崎町の上下水道の各種事業の迅速な対応と町重要施策の執行体制を確立するため、上下水道事業管理者を配置します。水道事業では、安全で安心な水の安定供給を図るため工業団地配水池を更新します。下水道事業では、長目地区コミュニティプラント施設を公共下水道へ統合し、効率的な施設運営を図ります。また、市街地の浸水被害の解消を図るため、川すそ雨水幹線の整備を推進してまいります。

歳出における第5次総合計画の政策の柱ごとの主な事業は次のとおりです。

【第1の柱】地域づくり（参画と協働）

自治会における自律(立)のまちづくり交付金事業を継続し実施します。地方と国の連携、事務の簡素化・効率化を図るため、所得税の確定申告書等について、e-Tax に直接送信できる電子申告システムを導入します。

また、総合計画については、平成31年度からの後期に向けて、基本構想の見直しや新たな基本計画の策定に取り組みます。策定にあたっては、審議会、まちづくり委員会等で「活力にあふれ、風格のある、住みよいまち」づくりの具体策を検討します。

【第2の柱】教育・文化（ひとづくり）

公立幼稚園4園及び私立こども園2園の幼保連携型認定こども園により、就学前保育・教育の充実に取り組みます。子育て支援では、平成31年度の子ども子育て支援事業計画の策定に向けアンケートを実施します。また、子育て世代包括支援センターにおいては、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサービス提供の充実を図ります。老朽化の進んでいる学校施設(小中学校)では、計画的な長寿命化を図るため、前年度に実施した調査をもとに長寿命化計画を策定いたします。高岡小学校では、プールの漏水に対応するため改修工事に取り組み、各小中学校での空調設備設置に向け実施設計を行います。また、交流事

業として、町内小学生が遠野市を訪問し、民俗学の父「柳田國男」を軸とした児童交流を行います。第 39 回山桃忌は、「柳田國男と遠野物語」をテーマに、講演会やシンポジウム、また、遠野の民俗芸能を披露し『柳田國男生誕の地 福崎町』を広く発信します。学校給食共同調理センターでは調理及び配送業務を民間委託し、官民の利点を活かした安全で安心な学校給食に努めます。

【第 3 の柱】生活・環境（安全）

防災マップの土砂災害特別警戒区域（レッド区域）や市川浸水想定区域の見直しを反映し更新を行います。また、農村地域防災減災事業の県営事業として桜上池は本工事を実施し、板坂・三谷池については詳細設計を行います。また、大門・大年谷池、板坂・奥池の耐震診断、整備計画書作成と受益面積 0.5ha 以上のため池の一斉点検を実施します。ごみ処理事業では、新たに、水銀汚染防止法による責務として水銀使用廃製品収集を行います。また、小型家電リサイクル法による取り組みとして小型家電の回収を行います。

【第 4 の柱】健康・医療・福祉（安心）

巡回バスの《まちなか便》のダイヤ変更をはじめ、《郊外便》の運行日数を増やすとともに、《市町間連携バス》の運行などサービス・利便性の強化を図ります。母子保健事業では、新たに 3 歳児検診に視覚検査機器を導入し、視力測定を行い眼の疾患の早期発見に努めます。成人保健事業では、データヘルス計画に沿った取り組みとして、糖尿病重症化予防事業等を実施します。また、女性のがん検診受診率向上啓発事業としてピンクライトアップ事業を継続して実施します。予防接種事業では、昨年 10 月から実施している「子どもインフルエンザ予防接種費用助成事業」を継続し、学級閉鎖の防止や重症化予防などに努めます。

【第 5 の柱】産業振興（活力）

福崎秋まつりと「ひょうご森のまつり 2018」を 11 月 4 日に同時開催します。高岡・福田地区の県営ほ場整備事業は工事に着手し、山崎地区においてはほ場整備事業の実施検討に向けた調査業務を実施します。商工・観光では、地方創生推進交付金事業として第 5 回妖怪造形コンテストを実施し、駅前では妖怪モニュメントを設置します。また、ひょうご地域創生交付金事業として、観光用ベンチの設置や駅周辺での〇〇^{まるまる}まるしえの実施により地域の賑わいづくりに努めるほか、七種山遊歩道等の整備を行います。

【第6の柱】まちの基盤（利便・快適）

福崎駅周辺整備事業は社会資本総合整備計画の最終年度を迎えます。福崎駅田原線の用地交渉と並行して土地収用手続きを進めるとともに、県道甘地福崎線や交通広場等の整備を進めてまいります。辻川界限においても、観光交流センターや道路整備等の進捗を図ります。橋梁整備事業では、長寿命化修繕計画に基づき西治長野線の無名橋架替の外4橋の補修工事及び定期点検等を実施します。また、福崎町公営住宅等長寿命化計画に基づき、駅前団地の建て替え工事を行います。

平成30年度に取り組む各課ごとの主な事業は次のとおりです。

【総務課】

地域に出向き直接住民から意見をいただく行政懇談会を引き続き実施し、新年度ですべての集落で実施することとなります。ここでいただいた意見を町政施策へ反映することによりきめ細かい行政を目指します。

職員においては、時代の変化やニーズに対応した政策形成能力を高めるため、各種研修機関での研修や県との人事交流の充実に努めます。

女性の持つ豊かな感性や生活体験を通した視点による率直な意見、提言をいただくため、女性委員会の活動を引き続き進めます。

【企画財政課】

予算編成にあたっては、第5次総合計画及び人口維持と地方創生を目指した総合戦略の実現に向け、積極的な予算編成を行いました。

健全な財政運営については、大型事業を進める一方で、中長期的な見通しを念頭に置きながら第5次行政改革実施計画に沿って改革に取り組みます。

安定的な財政運営に努め、限られた財源を「賢く使う」取組を行うため統一的な基準による地方公会計の整備を進めます。

【税務課】

各税目ごとの課税客体の的確な把握に努めます。個人住民税、国民健康保険税では未申告者の減少に努めます。法人住民税、償却資産に係る固定資産税では税務調査により適正な課税を行います。また、新年度は兵庫県全体での取り組みとして、すべての給与支払い者を個人住民税の特別徴収義務者として指定し、収納率の向上を図ります。

滞納管理システムを活用し業務の効率化を図るとともに、税の公平性の確保に向け財産調査・納税相談等を継続して行い、滞納者の生活実態の把握に務めながら、適切な滞納整理を行います。債務承認・分納誓約などにより時効の中断を図りながら、差押・換価などの滞納処分を行うことにより収納率の向上に努めてまいります。また、滞納整理対策委員会においても、関係課と連携を図りながら引き続き滞納整理に取り組んでまいります。

【地域振興課】

商工振興では「福崎町商工業振興基本条例」の理念に則り、福崎町商工会と連携を密にして町内の中小規模事業者にも配慮した商工業振興に取り組みます。特になつ得商品券は前年度と同様に発行額を7,700万円とし、地域内資金循環の拡大を図ります。また、買物弱者対策を推進していくため、移動販売車の運行を目指した実態調査支援を行います。

消費生活では、町民の皆さんが安心して暮らせるよう消費生活相談の充実を図るとともに、積極的に出前講座にも出向き消費者被害の防止に取り組みます。

本年度、自律(立)のまちづくり交付金事業は、33のすべての自治会で取り組まれました。新年度においてもすべての自治会で取り組んでいただけるよう啓発するとともに、更なる地域づくりの充実に努めてまいります。

駅周辺や新町、辻川地区の文化と観光をベースとしたエリアのまちづくりを推進するため、歴史的建築物等の積極的活用に取り組む自治体や金融機関等の民間企業で構成する地域資産活用協議会に参画し、地域で協力して文化・観光まちづくりに対する取り組みを進めます。また、一般社団法人ノオトや神戸新聞社とともに3月1日に開業した まちづくり拠点施設「タケムラ」を核として更なるまちの活性化に取り組みます。

【住民生活課】

個人番号カードでは、子育てワンストップサービスのPRや写真撮影の無料サービスを行い普及啓発を図ります。

児童生徒の通学の安全確保のため、通学路に防犯灯やグリーンベルトの設置に取り組めます。

町営住宅の家賃滞納者については、引き続き滞納整理対策委員会で協議しながら滞納家賃の減少に努めます。

防災対策について、近年の自然災害をふまえ、防災力強化と減災を図るため防災資機材の充実と自主防災組織の育成強化に努めます。また、平日・昼間の初期消火活動及び消防団員の支援活動をしていただくための、機能別消防団員を配置します。

【健康福祉課】

子育て世代包括支援センターの相談機能を充実させるため、妊婦・新生児・乳幼児訪問・産前産後サポート事業の各教室等との連携を図りながら、妊娠期から子育て期における母親への切れ目のない支援を継続します。あわせて子育て世代支援者連絡会を開催し、子育て関係者と要支援者についての情報を共有することにより、適切な支援を行います。

食育推進事業では、保健センターですべての町民を対象に「健康食堂」を開催します。生活習慣病予防に着目した食事を摂ることを習慣にしてもらうことや、地元でとれた食材を使い安全な食の提供と特産品の普及に努めます。減塩・低カロリーなどのメニューで月1回昼食を提供し、食生活指導と「共食」の場を創ります。

介護保険の総合事業においては、要支援者と事業対象者となる方に対し、生活支援サービスやリハビリなどの支援に重点を置きつつも、本人の思い・家族の思い・住環境等に配慮した支援を行うとともに、必要とする方に適切な支援が提供できる体制づくりに努めます。

【農林振興課】

農業委員会では、許認可業務のほか農地利用最適化推進業務を通じ、耕作放棄地対策や担い手への農地の利用集積を進めます。

各集落において5年後、10年後の地域の農業がどうあるべきか、地域の皆様に考え取り組んでいただく「人・農地プラン」の策定をさらに推進します。また、多面的機能支払交付金事業の農地維持支払いに取り組む活動組織においては、新年度中に「地域資源保全管理構想」を策定する必要がある、未策定の集落に対し取り組みを推進します。

福崎町特産のもち麦については、もち麦産地振興協議会による「もち麦の可能性を考えるフォーラム」や県立大学、神戸医療福祉大学との連携を通して、もち麦の機能性食品表示の認証に向け取り組むとともに、もち麦を使ったレシピ開発にもご協力いただき、もち麦を活かしたブランド戦略を進めます。

有害鳥獣対策は、防護柵設置の推進とともに地元集落や農業者協力のもと猟友会による捕獲体制の強化を図ります。

国土調査では、山林の地籍調査を引き続き推進します。

【まちづくり課】

都市計画の見直しでは、都市計画道路、福崎駅田原線の道路方線形の見直しを進めます。

また、西部と東部の工業団地拡大についての調査・検討を行います。

特別指定区域制度の見直しについては、新規居住者区域、特定区域の指定のための手続きを継続して実施します。

空家対策については、「空家等情報バンク」への登録をPRし空家の利活用を図ります。また、「空家等の適正な管理に関する条例」に基づき空家対策のための協議会を設置し、特定空家に対し指導・助言を行ってまいります。

【上下水道課】

水道事業では、健全な経営を将来にわたって持続させるため、水道事業ビジョン及び経営戦略の策定に取り組みます。また、福崎駅周辺整備事業や道路橋の架け替えに併せて配水管の新設・布設替を行います。

公共下水道では、ストックマネジメント計画を策定し、効率的・効果的な施設の管理運営に取り組みます。

雨水対策では、川端雨水幹線市川放流口の改修を図るとともに、直谷第2雨水幹線の事業化に向けて下水道事業計画の変更協議に取り組みます。

福崎企業団地の污水管や水道配水管の布設跡、駅東雨水幹線の^{かんきょ}函渠布設跡については舗装本復旧工事を進めます。

下水道事業会計では、新年度から資本費平準化債を借入れ、一般会計からの繰入を抑制しつつ安定した経営を持続できるよう努めます。

【学校教育課】

小中学校に学校教育指導員、不登校指導員、学習支援員、介助員、スクールカウンセラーを引き続き配置するとともに、前年度から配置している福祉の視点でサポートするスクールソーシャルワーカーを1名増やし、両中学校区での教育課題の解決に取り組みます。

幼小、小中学校の連携により、小1プロブレム、中1ギャップへの対応の取り組みをさらに進めるとともに、中学校英語教師による小学生への英語授業に取り組みます。

児童生徒の国際理解教育と、小学校の英語教育を推進するため配置している2名のALTにより、前年度から本町の就学前教育の特色づくりとしてはじめた公立幼稚園の英語活動の充実を図るとともに、新学習指導要領の平成32年度改訂に向けて、新年度から小学校3・4年生の英語教育の先行実施を行います。

前年度に全台更新した小中学校児童生徒用パソコン及び教職員用パソコン、一部に導入したタブレット端末、教職員の業務改善のため新たに導入した校務支援ソフトの活用によ

り、教育環境の充実を図ります。

給食共同調理センターは、食育推進計画に基づき、児童生徒の基本的な食生活・習慣・体づくりと学校給食における地産食材の利用増進等により食育を推進します。

【社会教育課】

兵庫県指定文化財大庄屋三木家住宅は、昨年4月より主屋部分の公開をしています。引き続き特別展・講演会また様々な四季の展示等を行い三木家の魅力を発信してまいります。

柳田國男・松岡家記念館では、松岡静雄生誕140年を記念し、記念展等の事業を実施します。歴史民俗資料館では、吉識雅夫生誕110年を記念した企画展、明治150年を記念した特別展を開催します。

埋蔵文化財事業では、引き続き高岡・福田地区ほ場整備事業の本調査を実施します。

図書館では、住民の情報文化の核として情報の収集・発信に努めるとともに、子どもたちに読書習慣が身につくよう各種事業に取り組んでいきます。図書購入費も維持し、蔵書の充実を図ります。

文化センターでは、各種講演会やセミナーを幅広い分野で実施し、生涯学習の拠点として、充実を図ります。

エルデホールでは、3年計画で進めている音響設備の更新を完了させます。引き続き空調設備・自家発電設備の改修設計に取りかかり、施設の長寿命化を図ります。

野外活動センターでは、老朽化の激しい管理棟テラスの改修工事を行い、安全な施設管理に努めます。

続きまして、今議会提出議案の概要について説明いたします。

(省略)

以上、報告が3件、専決の承認1件、人事案件2件、条例改正3件、予算案件で補正予算が6件、当初予算が7件、その他の案件として3件の全25件となっています。

詳細説明は、副町長、公営企業参事ほか、担当課長が行いますのでよろしくお願い申し上げます。所信表明といたします。